

スーパーコンピューターシステムの教育利用（試行）について

共同利用係
システム運用係

大学院や学部で授業において、気候・流体解析・構造解析・分子科学・ナノテクノロジー・航空宇宙など多方面の研究分野で養われた手法を用いてスーパーコンピューターを実際に演習教材として使用する動きがあることから、本センターでは、それに呼応して現在、試行的にスーパーコンピューター資源を提供しています（当面无料）。この試みが教育の現場で役立てられることが実証されれば、スーパーコンピューター利用の拡大に繋がれると期待しています。既に学部の専門課程及び大学院の授業において、構造解析・地球科学・流体関係の演習用としてスーパーコンピューターが実際に使われています。

主な提供資源並びに、申請内容

- ・ 現在、15名程度の小規模授業を対象としています。
- ・ 利用期間は、授業開始から学期末（今年度後期については3月上旬まで利用可能）。
- ・ 授業の内容がわかる資料（シラバス・カリキュラム等）の写しを添付してください。
- ・ 授業終了後には、報告書の提出をお願いします。
- ・ 下記のどちらか一方のシステムが利用可能です。

SR11000/J1 専用キュー（実行経過時間は最大 15 分）
 (60.8 GFlops/ノード、8 CPU、最大メモリー 56 GB)

SR8000/MPP 専用キュー（実行経過時間は最大 60 分）
 (14.4 GFlops/ノード、8 CPU、最大メモリー 13.5 GB)

注意事項

- ・ 申し込みが多数の場合は、システム全体の利用状況を考慮し、利用の制限または利用をお断りする場合があります。
- ・ 指導教官は、システムの利用について責任を持ってご指導ください。学生からセンターに対する質問はご遠慮ください。

なお、本件の詳細については、本センター共同利用係までお問い合わせください。また、利用申込書は、下記ウェブページからダウンロードしてご利用ください。

お問合せ先

共同利用係 ： 03-5841-2717 (ダイヤルイン)
 22717 (東京大学内 内線)
ウェブページ： <http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/>